

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	ソブ川水路整備事業				
事業の概要	当水路は三河内上地地区浸水対策基本計画により選定されている水路で、河川改修されたソブ川から背後地(山地)までを結ぶ全体延長684.5mを、計画的に整備するものである。 本工事は、町道内に暗渠として自由勾配側溝・ボックスカルバート等を布設し有効断面を確保することで、集水区域を貫流させ、既に改修済みのソブ川本線に流入させるものである。				
	目標時期	平成17年度			
	総事業費	24,406	本年度事業費	24,406	交付金交付額
事業の必要性	当該区域は浸水の常習地域であり毎年のように浸水被害が発生していたが、整備された区間において被害はすべて改善された。未整備区間では、未だ被害が解消されておらず、住民からも早期の整備完了を強く望まれており、早急に整備が必要な事業である。				
事業の有効性	常習浸水地域である三河内地区の浸水被害を解消することができる。				
事業の効率性	整備前は、年間2～3回の浸水被害が発生していたが、整備済の区間においてはその後浸水被害は発生していない。本町において多大な被害を受けた平成16年の台風21・22・23号においても、整備済区間は浸水被害が発生しておらず、効果・効率性は高い。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 水路を整備したことにより、維持管理が容易になったため、自主的に地域で泥上げ作業等を行う体制ができつつあり、自主防災に対する意識が高まっている。				
	3 リーディング・モデル成果 水路整備することにより浸水被害が解消されたことを目のあたりにし、今後の事業執行においては、用地買収や施工に際し、より協力が得やすくなるものと思われる。				
	4 広域的波及成果 ソブ川流域は町内の広範囲に及んでおり、当整備を行うことによって上下流域の浸水対策にも繋がるものである。				
	5 行財政改革に資する成果 浸水による被害対策が不要となった。				
	6 その他の成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。